

幸福を、平和を、豊かな心を、カンボジアの友と分かち合おう

Angkor Wat

アンコールワット

発行日:2017年(平成29年)1月1日 《年6回・奇数月発行》 会報 第92号

特定非営利活動法人(NPO法人)

21世紀のカンボジアを支援する会

《AAC21》ASSOCIATION OF AID FOR CAMBODIA IN 21 CENTURY

【東京本部】〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-203
TEL:03-3991-2854 FAX:03-3557-1213
E-mail:info@aac21.net

【カンボジア事務所】Phon Preytea, Sangkat Chaom Chao, Khan Por Senchy
Khan Por Senchy, (Borey Newtown) Phnom Penh
(855) 78-784-808 (855) 17-599-707

【ホームページ】AAC21 [検索](#)

【公式ブログ】メコンの風に吹かれて [検索](#)

【Facebook】<https://www.facebook.com/aac21.net> [検索](#)

神戸ユネスコ協会が図書館寄贈

11月17日、22日、神戸ユネスコ協会(神戸市中央区、加藤義雄会長・法人会員)の皆さん(12人)がカンボジアを訪問、「ストックアイトロミヤ神戸ユネスコ小学校」、「ソカーオン佐々木小学校」、本会が運営する児童養護施設「夢ホーム」などを訪問した。

特に11月18日、「ストックアイトロミヤ神戸ユネスコ小学校」に建設中だった図書館がこの程完成、その贈呈式が行われた。

また、かねてより生徒たちに給食を提供したいという加藤会長の思いに、加藤会長の友人で、プノン



本を読む子どもたち



完成した図書館



肉丼を提供した灘本社長(左から2人目)



おいしかった!

ペンで「焼肉六甲」を出店している灘本社長(神戸市在住)が応えてくれた。

同社長のご厚意により、生徒や先生、関係者に肉丼(200人分)が振るまわれた。

初めて食べる美味しい肉丼、残してはもったいないと、家に持ち帰る生徒が沢山いた。

また、「秋田矢留ライオンズクラブ」が提供してくれた学用品を、生徒たちに配った。

モンゴル、中国、ベトナムなどからの留学生も参加、国際色豊かな旅だった。

千の風になり

NPO法人 21世紀のカンボジアを支援する会 理事長 根岸 恒次

県・生徒数120人)を訪問した。遠藤啓さん(伊豆の国市、会員)と上山陽子さん(奈良県大淀町、法人監事・里親会員)が同行してくれた。

ア政府から頂いた感謝状が掲示された。同小学校には校舎がなく、家の軒下を借りて授業していたが、たまたま訪問した鈴木さんがその様

11月12日、今年の5月に急逝した鈴木千雄さん(愛知県あま市、里親会員)の資金協力で、7月に新校舎が完成した「デチョーアンカイン鈴木小学校」(カンボット

生徒たちへのお土産として、遠藤さん始め数人の方から、学用品セットが贈られた。新校舎の中央には、鈴木さんのネームプレート、写真、カンボジ

子を見て校舎の提供を申し出てくれたもの。数年前まで本会のドレイバーをしていたカンボジア人(ブン・トゥーンさん)が橋渡し役になった。新校舎は3教室、幼稚園から小学4年までの120人が学ぶ。授業は午前中のみで教師は3人。今回の訪問に同行してくれた遠藤啓さんの紹介で鈴木さんが本会に入会、鈴木さんが壁に貼ったカンボジアの写真が縁で、上山さんが本会に入会した経緯がある。不思議な縁で結ばれた3人だ。さわやかな風が吹きぬける高原にある同小学校、鈴木さんはお名



校舎の中央に飾られた鈴木さんの写真、ネームプレートなど

前の通り千の風になり、小学校で学ぶ子どもたちの成長を見守っていることだろう。

お年玉募金にご協力ください

本会では、毎年12月～1月にかけて「お年玉募金」として、特別にご協力をお願いしております。今年も、児童養護施設「夢ホーム」の子どもたちのため、制服、衣類、靴、自転車などを購入する予定です。残金は「夢ホーム」の運営費として、使わせていただきます。皆様のあたたかいご協力をお願いいたします。(金額は問いません)

■送金方法
所定の郵便振替票をご利用ください。
銀行振り込みをご希望の方は、事務局へご一報ください。



ウーチ・ボーリット外務副大臣を表敬訪問

11月8日、根岸理事長と石川副理事長がカンボジア王国外務省、ウーチ・ボーリット副大臣を表敬訪問した。外国への出張など多忙なスケジュールを裂き、お会いしてくれたことを心から感謝したい。副大臣は、在日本カンボジア王国チア・キムタ大使と親しく、大使の紹介により訪問が実現した。本会は、カンボジア外務省に登録している国際NGO団体であり、今後も連携して支援活動を推進していくことを約束した。



左からウーチ・ボーリット副大臣、根岸理事長、石川副理事長

カンボジアの子どもたちをサポートしてください



里親さん、ありがとう

クメール教育里親会員募集

長かった内戦が終わって平和になったカンボジアですが、国の復興はなかなか進まず、多くの人々は貧困に苦しんでいます。特に農村では、貧しかったり親を亡くしたりして学校へすら行けない子どもや、学校へ行けても途中でやめてしまう子どもが後を断ちません。本会では、農村の子どもたちが学校へ行けるようにと、教育資金をサポートしてくれる里親さんを募集しております。

思えば71年前、敗戦して焦土となった日本を救ってくれたのは、諸外国からの援助でした。カンボジアも食料援助をしてくださいました。日本の子どもたちもその恩恵を受け学校に行けるようになりました。豊かになった私たちが、今度は困っているアジアの子どもたちを支援する番です。

※お友達グループや職場など、グループ単位でサポートしていただくこともできます。

【年会費】：子ども1人につき、1年間3万円。一括納入、分割納入(毎月、年3回、年2回)のどちらでも可。所定の郵便振替用紙を使ってお振込みください。

【会費の使途】：年会費の40%が、学用品、制服、靴などの購入、学校への納付金、お小遣い、生活資金など、子どものために使われます。年会費の60%が、夢ホームで暮らす子どもたちの生活費及び運営費、里子をケアして下さる各学校への謝礼金、現地スタッフの給料・ガソリン代・事務所家賃・車の整備代など現地にかかる経費、通信費・印刷費・人件費など東京の本部でかかる経費として使われます。

【サポート期間】：最低1年間単位ですが、少なくとも里子が学校を卒業するまでの期間、サポートしていただけたら幸いです。里子からは年2回、近況を報せる手紙(日本語に翻訳)と写真が届きます。(年に一度、成績表も届きます)

【里子との交流】：里親さんからの手紙、プレゼントも里子に届けることができ、心あたたまる交流ができます。(お礼状と写真が届きます)

本会は皆様からの寄付金のみで活動しているNPO法人であり、現在公的資金(税金)はいただいておりません。

児童養護施設夢ホーム日記

カンボジアのコンポンスプー県にある児童養護施設「夢ホーム」は、両親や片親を亡くしたり、親がいても家庭的に恵まれない子どもたちの生活と教育の場として、会員の皆様のご厚意により2009年3月に開園しました。現在10歳～18歳の13人が暮らし、近所の小・中・高校に通学しています。

■ 2人の女の子が新しく入園

10月、2人の女の子がコンポンスプー県から新しく入園した。2人とも、新学期(11月)から中学1年生になり、夢ホームに近い「ソカーポリー中学校」に通学を始めた。



ソピアックちゃん ムイキアンちゃん

■ トンヘアン君がプノンペン大学に入学

8月に高校を卒業したトンヘアン君がプノンペン大学(夜間の日本語学科)に入学、11月から通学を始めた。住居は本会事務所の屋上階、メコン大学に通っているソム・クソム君と同居。



プノンペン大学・教室の前で

第9回コンポンスプー県小学校対抗サッカー大会

11月6日、9回目となる同大会をコンポンスプー県内の「ローロツ小学校」の校庭で開催した。本会及び「カンボジアの子どもたちに夢と希望を贈る市民の会」(茨城県日立市、菊池和雄代表)が共催した。夢ホーム周辺の8つの小学校が参加、今年も、夢ホームの子どもたちが通学する「タメイ小学校」が4年連続で優勝した。夢ホームの小学6年生、キム・パニャー君が優秀選手に選ばれた。

閉会式で、菊池代表が日本から持参したサッカーボールなどの賞品を、優勝チームなどに贈呈した。



裸足でボールを追いかける子どもたち

カンボジアの小・中学校と村に5つの井戸が完成

10月～11月は、カンボジアの小学校に3基、中学校に1基、村に1基(合計5基)の井戸が完成し、根岸理事長、石川副理事長らが出席して贈呈式を行った。

どの井戸もきれいな水が出て、子どもたちはとても喜んでいました。



11月に完成した井戸の内訳

	ネームプレート名	学校名	生徒数	所在地(県名)
①	カンボジアの皆さんが大好きな日本人より	プロチバート村	857人	コンポンスプー県
②	澤木和子 様	トロップ中学校	270人	コンポンスプー県
③	地球の平和のための謎とき会	スヴァイ小学校	155人	プレイベーン県
④	YUKO KOHARA 様	プレイバダウ小学校	438人	プレイベーン県
⑤	千田貞四郎 様	パンクラッチ小学校	300人	プレイベーン県

※通算の井戸設置数(2003年～)＝291基(11月現在)

石川副理事長が鳥防止網と図書を寄贈

11月9日、石川桂副理事長(愛知県安城市、里親会員)がトロバントム石川小学校を訪問、恒例になった住民・保護者・教育支援する10人の生徒と懇談会を開催した。

また、図書館の屋根から鳥が侵入できないようにと防止網を設置し、生徒たちのために図書を寄贈した。



住民や子どもたちに話す石川副理事長

サッカー場と遊具などを寄贈

11月4日、第34回「カンボジアふれあいの旅」の中で、宮下隆さん(東京都調布市、里親会員)が「セナープロモック宮下小学校」を訪問した。昨年11月、宮下さんが校舎を寄贈した小学校だ。

校庭にサッカー場と遊具を寄贈、生徒たちに学用品セット、サッカーボール、バレーボールを、各教室に掛け時計を寄贈した。



子どもたちに学用品を配る宮下隆さん

上山陽子さんが小学校で音楽指導

11月16日～17日、上山陽子さん(奈良県大淀町、法人監事・里親会員)が、夢ホームの子どもたちが通学する「タメイ小学校」で鍵盤ハーモニカによる音楽指導を行った。

上山さんは、10日から20日までカンボジアに滞在、井戸贈呈式など、会の活動にも参加してくれた。



音楽指導する上山陽子さん

宮川公子さんが音楽指導と楽器寄贈

11月14日～22日、宮川公子さん(宮城県石巻市、里親会員)が夢ホームに滞在、子どもたちに歌と伴奏指導を行った。

近隣の2つの小学校で、鍵盤ハーモニカによる音楽指導と、合唱指導を行った。

また、2つの小学校に、キーボード(1台)と鍵盤ハーモニカ(8台)を寄贈した。



キーボードと鍵盤ハーモニカを寄贈した宮川公子さん

パンクラッチ村で小学校の校舎建設が開始

「世界の恵まれない地域に小学校を作る会」(新潟市秋葉区、石川幸夫代表)と「新津ライオンズクラブ」による資金協力のもと、パンクラッチ村(プレイベーン県)で小学校の校舎及びトイレ棟の建設工事が始まった。

11月10日、その着工式が行われ、日本から根岸理事長ら3人が出席した。

校舎は3教室で、机などの備品はパンクラッチ村が資金を提供した。トイレ棟は、千田貞四郎さん(岩手県奥州市)と及川弘子さん(岩手県奥州市、里親会員)の資金提供によるもの。

併せて千田貞四郎さんの協力で早々と井戸が完成、その贈呈式も行われた。

建設工事に先立ち、10月2日、小学校建設資金の調達を目的とし「新潟テルサ」で新潟出身のシャン



仏式で行われた着工式

第34回カンボジアふれあいの旅

11月3日～9日、第34回「カンボジアふれあいの旅」が行われ、一部参加者含む14人が参加した。

3日は移動日、4日はAコース(遺跡観光組)とBコース(小学校訪問組)に分かれた。

小学校訪問組は、昨年11月、宮下隆さん(東京都調布市、里親会員)の資金協力により完成した小学校(セナープロモック小学校・生徒数80人)を訪問した。宮下隆さんが、サッカー場と遊具を寄贈してくれた。

5日はシエムリアップからプノンペンへの移動日。途中、トンレサップ湖にある水上生活村(コンポンプルック村)の小学校を訪問、ふれあいの旅参加者の皆さんが資金提供してくれた学用品(480人分)を寄贈した。

6日は、本会が経営する児童養護施設「夢ホーム」(コンポンスプー県・児童数13人)を訪問、魚釣りをしたり歌ったりして交流した。



夢ホームを訪問
写真提供＝遠藤啓様

7日は里子訪問。2班に分かれ、教育里親さんが支援する里子の家を訪問、里子と交流しプレゼントを渡した。

8日はプノンペン市内観光(午後は自由行動)、夕方には空港へ向かい、現地解散した。

次回35回目の旅は、2017年3月8日～14日を予定。

2016年を振り返って



本会は2000年1月に創立、丸17年が経過した。3年後の2020年は、東京五輪で賑わう中での創立20周年になりそうだ。

さて、今年も終わろうとしている。今年は本会にとり飛躍の年であり、多難な年でもあった。以下、今年にスタートした新たな取り組みを紹介する。

2月 在日本カンボジア大使館、チア・キムタ特命全権大使を表敬訪問した。以後、カンボジア大使館と連携して活動を行うことになった。

5月 代々木公園で開催された第2回「カンボジアフェスティバル」に初参加、会のPR活動を中心に出展した。以後、毎年参加する予定。



日本人が寄贈した井戸の水を飲む生徒。(11月10日、バンクラッチ小学校で) 写真提供=遠藤啓様

7月 味の素グループ労働組合協議会の事務局長様が来所、来年度より、本会とタイアップしてカンボジア支援を推進していくことが決まった。早速1月には、労働組合協議会がカンボジアツアーを企画、本会の仲介により、5つの小学校に遊具を寄贈することになった。

9月 認定NPO法人の資格を取得するための申請書を、東京都庁に提出した。1月に監査が行われることになり、監査が通れば、4月頃から寄付金の税金控除が可能になる。

11月

カンボジア政府(窓口：外務省)と向こう3年間の契約(MOU)を取り交わした。多くのカンボジア支援団体がMOUを取得していない中、本会はカンボジア政府からの厚い信頼に支えられ、現地活動を展開している。

年末になり、テレビ局からの取材依頼が舞い込み、目下準備中だ。内容が固まり次第、会報にてお知らせしたい。

この他、カンボジア語講座、カンボジアセミナーなどの啓発活動を始めた。

一方、今年も有力な会員さんを見送った。

5月12日、最も大きい支援者の一人だった鈴木千雄さんが突然逝去された。77歳、心不全だった。突然の訃報に右往左往の日々だった。

8月4日、本会設立当初から理事を務めてくれた山本哲朗さんが逝去された。93歳、老衰だった。

この他、数人の会員様が天国に旅立った。

カンボジアは都市部で著しい発展している中、地方では貧困にあえぐ人たちが沢山いる。特に、教育を受けることさえままならぬ子どもたちの存在は看過できない。

会を創設した時の精神を忘れることなく、今後も活動を継続していく。(根岸恒次)



鈴木さんが寄贈した小学校で学ぶ生徒。遺影と生花を抱いて悲しんだ。(11月12日、デチョウアンカイン小学校で) 写真提供=遠藤啓様

まずは絵画交流から

及川英博理事(岩手県奥州市、里親会員)の仲介により、カンボジアと日本の小学生交流がスタートした。

まずは絵画交流からと11月11日、及川理事が夢ホームの子どもたちに通う「タメイ小学校」を訪問、岩手県釜石市立「平田小学校」の生徒たちが描いた絵画(10枚)を届けた。

タメイ小学校からも12枚の絵画を受け取り、帰国後、平田小学校へ届けた。

今後も絵画交流を続け、将来は多面的な交流に発展することを期待したい。



平田小学校の生徒が描いた絵画をもらったタメイ小学校の生徒たち(11月11日、タメイ小学校で)

第15回定期総会のご案内

第15回定期総会を開催いたします。会員の皆様には別途通知いたしますので、ご出席お願い申し上げます。

日時：2017年2月19(日) 午後2時～4時
会場：練馬区立練馬文化センター・3F会議室
議題：2016年度事業報告、収支報告
2017年度事業計画、収支予算
その他懸案事項
その他：スクリーンにて現地活動を紹介

紙の募金箱設置のご協力をお願いします

本会では、夢ホーム始め現地活動を支えるため、紙の募金箱を作成して皆様にご支援をお願いしております。

折りたたみができ簡単に送ることができます。貯まったお金は郵便局から振替用紙を使って送金ができます。(小銭は郵便局で数えてくれます。)

お電話いただければすぐにお送り致します。



活動に参加しませんか

ボランティアとして

学用品を現地の学校で配布したり、子どもたちと交流して下さるツアー参加者を募集しています。ツアーは、年3回実施しています。

クメール教育里親基金

農村の貧しい子どもたちが学校に行けるようにと教育資金をサポートして下さる教育里親会員を募集しています。サポート金額は年間3万円(分割可)です。

会員として

・個人会員(月額105千円)
・法人会員(月額101万円)
・教育里親会員
(月額1万円につき3万円)

会員の皆様には、隔月発行する本会の会報「アンコールワット」を発行の都度郵送します。会費の送付は、郵便振替、銀行振込み、現金書留で。
(郵便振替口座名)
21世紀のカンボジアを支援する会
(口座番号)
0013000160916
※銀行振込をご希望の方は事務局へご報告ください。
※郵貯銀行の自動引き落としをご希望の方は事務局へご報告ください。

新しい仲間が増えました

2016年10月、11月の2カ月間で、3名の教育里親会員様、1名の法人会員様が新規に加入してくださいました。

ご支援ありがとうございました。

書き損じハガキ・未使用切手・商品券等をお送りくださいませ

本会では、書き損じハガキ・未使用の切手・ビールやデパートの商品券を集め、活動資金にしております。皆様の家に眠っているものがございましたら、ご協力くださいますよう、よろしくお願い致します。普通郵便で事務局へお送りください。

事務局便り

■34回カンボジアふれあいの旅が終了、35回の旅の受け付けを開始しております。詳細は右記の通りです。成田空港から就航する直行便を利用いたします。

■このほど、カンボジア政府と契約書(MOU)を取り交わしました。期間は2016年11月～2019年10月です。今後カンボジア政府のバックアップを頂き、適切な支援と交流を継続いたします。

1月～2月の予定

- 会報「アンコールワット」1月1日付第92号発行
- ミニツアー(1月8日～22日)
- 2017年度第1回理事会(2月19日、練馬区立練馬文化センター・会議室)
- 第15回定期総会(2月19日、練馬区立練馬文化センター・会議室)

成田空港⇄プノンペン空港間に直行便が就航しました

「夢ホーム」で子どもたちと楽しい交流・里子の家庭訪問・井戸の贈呈式、学用品配布など

第35回カンボジアふれあいの旅 参加者募集

本旅行は観光旅行では味わうことのできない現地の子どもたちとの交流をはかることができます。

特に本会が運営する児童養護施設「夢ホーム」の子どもたちが皆様をお待ちしております。あわせて学用品配布や井戸の贈呈式に参加でき、思い出に残る充実した海外旅行を楽しむことができます。

旅行代金も格安に設定しましたので、お気軽にご参加ください。又、希望者には「アンコールワット日帰り観光」を用意しました。募集は原則として本会会員を対象にしておりますので、会員以外の方は、事前に会員登録(年間一口5,000円)が必要になります。



夢ホームを訪問します



里子の家を訪問します

■お問い合わせ・申し込み

旅行企画☆特定非営利活動法人

21世紀のカンボジアを支援する会

〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-203
TEL: 03-3991-2854 / FAX: 03-3557-1213

【旅行期間】2017年3月8日(水)～3月14日(火) (5泊7日)

【募集定員】最少催行人員10名様(定員=20名)
先着順で受け付け、定員になり次第締め切ります。

【滞在ホテル】ミトホテル(プノンペン)5泊

【利用空港】成田空港、関西空港、その他

【旅行日程】8日=成田空港から全日空の直行便でプノンペンへ
(他空港からの出発も可能です)

9日=小学校を訪問、井戸の贈呈式に出席

10日=自由行動(希望者のみアンコールワット日帰り観光あり)

11日=教育支援する里子の家を訪問

12日=夢ホームを訪問・交流、マーケットで買い物

13日=プノンペン市内観光、午後6時頃ホテルチェックアウト
→プノンペン国際空港から帰国の途へ
(空港にての現地解散になります)

14日=午前、成田空港(その他の空港)

【旅行代金】12万円から13万円 *現地までの航空券代、現地での宿泊代、食事代、車代など、旅行にかかるほとんどの費用を含みます。
*1人部屋希望者追加料金5泊10,000円。*海外旅行保険は各自でおかけください。*カンボジア入国ビザを取得するため、現地空港で30ドルがかかります。*アンコールワット日帰り観光ツアーは約3万円がかかります。(往復航空便を利用)

【締切日】2017年1月20日(金)